

恵風会だより

第 14 号

2014

(平成26年)

2.16

社会福祉法人 恵風会 〒371-0017 前橋市日吉町 2 丁目20番地14 TEL(027)231-3430 FAX(027)231-3420

上州の山河のもと一世紀近くを生活してきた私にとって今更郷土の景観をふりかえって記述することもないかと思いますが、近時大災害がわが国を襲って、その爪痕を生々しく見なければならぬ現在、わが群馬県が余り大きな被害に遭わないでおられるのを思うとき、私は本当に幸せだと感じ郷里のありがたさを皆さんと共有したいという気持ちにかられます。

Ⅱ前橋の中心に生まれるⅡ

上毛三山に包まれ、県都前橋の中心三河町(旧芳町)に生まれ小学校に入学するまでの家は、前橋養老院にとつても初めての自前建物であり、老人と一緒に寝起きする院舎にある種の誇らしさを感じておりました。

しかし、経済の不況の状況下で職を求めるお年寄り、後をたたず、その当時の院舎での対応が困難となり、新たな場所を求めて奔走し、昭和三年に現在地(日吉町―旧桂萱村三俣)にところをえて転居することになったのであります。

巻頭言



恵風会とともに生きる

理事長 田 辺

誠

Ⅱ現在地で新たな出発Ⅱ

旧芳町の院舎から旧三俣の現在地に移転するまでの数年間は私共の福祉施設にとつて最も困難な期間でありましたが、田辺初代院長と経営陣は死にもの狂いの活動を展開し、よくその危機を乗り越えたと感じざるをえません。

大変な困窮の境にあつたにかかわらず、未だ少年期であつた私にとりましては

ら見ると「自分たちの家は建築ばかり続いている」との印象を持ったのであり、その努力もあつて昭和九年の北関東特別大演習の際には、民間福祉施設としてはまれな侍従御差遣を受けることができた、当時の写真の中に、田辺院長が渡り廊下で庭に飼育している鶏舎の説明をしている、颯爽としたモーニング姿が写されているのを覚えております。

しかし、この機を境にし

き「ああ、戦争に敗けたのだ、もう二度と戦火を交えることはしてはならない」と誓つたのであります。

Ⅱ改築期にも「転居せずⅡ

前橋などの復興に合わせ養老院から老人ホームへ、更に社会福祉法人へと量・質ともに拡張し、今日、老人福祉施設としては、一通りの複合組織となつておりますが、その間に昭和五十五年建物全面改築を断行

新しい環境、養老院の北側には檉沢、勝、伊藤の三軒だけという閑散とした田園が開けている中で飛びまわっており、小学校も三校(中川、城東、付属)転校してもたちまち順応して遊びに一杯であり、楽しい少年期を過ごした記憶を持っております。

苦労は多かった中で施設の拡大を手がける楽しさ、味わったのでしょうか。資金が少しでも膨らむと直ぐさま増築に取り込み、私か

て我が国は急速に戦時体制に突入し、昭和二十年の敗戦へとつながっていったのであります。この間の福祉事業が辛苦に満ちていたことは論を待ちません。

この期間の相当部分私自身は兵役にあつて郷土を離れており、実情を知る由もなかったものであり、終戦直後ようやく兵役を解かれて忽々と荷物を一個肩に、前橋駅に降り立つて一面焼け野原の市街地を一望し、赤城山だけが大きく見えた

Ⅱ結 びⅡ

今日以降においてどのような場所に法人を全面的に移転すべきかどうか、多くの人達の論議を経て決めていくべきものと考えております。

事業活動報告

前橋老人ホーム

老施設フォトコンテスト

優秀賞受賞

群馬県老人福祉協議会の
フォトコンテストで優秀賞



を受賞しました。

利用者と職員ふれあいをテーマに「笑顔の大輪」と題して応募したところ、お年寄りの笑顔と斬新な構図が評価され受賞となりました。

エコキャップ活動に参加してみないいき

恵風会では、エコキャップ活動の趣旨に賛同しキャップを収集しております。エコキャップ活動とは、ペットボトルなどのキャップのリサイクルを通じて開発途上国の子供たちにポリオワクチンを送るという活動です。



キャップ収集は、リサイクルにおける最初の工程です。皆さんに集めていただいたキャップをリサイクルができるかできないかを選別し、キャンペンシールなどを剥がして発送用の袋に入れて加工業者に発送しています。この選別してシールを剥がす作業を前橋老人ホームの利用者さんに手伝っていただいています。

恵風園

クリスマス会と

初釜

皆さん「子供たちが助かるといいね」など話しながら、いきいきと取り組んで下さっています。
現在、累計五十七万九千五百八個収集し、換算するとワクチン七百一人分を寄附したことになります。皆様のご協力に感謝申し上げます。今後とも収集のご協力をお願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。昨年は大変



お世話になりました。本年もよろしく願います。昨年末の十二月十五日、クリスマス会を行いました。クリスマス会ではありましたが、食事はやはり利用者様に大人気の寿司となり、皆様おいしそうに召し上がられていました。また、クリスマス会と同時に誕生者のお祝いも兼ねており、多くのご家族にお忙しい中参加し、一緒に祝っていただけでしたこと、この場を借りてお礼申し上げます。新年になりまして、一月七日には初釜を行いました。毎年ボランティアの方をお招きしておいしい抹茶、和菓子をご利用者様、

さらに職員も楽しませていただいております。難しい作法などは気にせず、本格的なお茶をいただけるというところで、やはり利用者様も楽しみにされている行事

居宅介護支援事業所 恵風園

感謝の気持ちで

おもてなし

居宅介護支援事業所には、四人の介護支援専門員がいます。普段は、地域の担当利用者さん宅に定期訪問し、様子を伺ったり、相談を受けたり、時には仕事を忘れ、世間話をしています。恵風園のイベントにも参加し、地域の皆様の日頃のご協力に感謝の気持ちで

の一つです。本年も利用者様が楽しく、健康的に生活できますよう、職員一同精一杯努力させていたいただきたいと思っています。



おもてなしのお手伝いもしています。

前橋市地域包括支援センター中央東

行政と市民で高齢者支援へ

超高齢社会を迎え、公的サービスだけでは高齢者の生活を支え切れなくなつて

います。そこで、地域の繋がりを再構築していこうと、地域包括支援センターでは、昨年九月に、城東・中川・若宮地区の代表者の皆さんにお集りいただき、地区全体としてできることやルール作りについて話し合いました。今後も、行政

と市民とが協力関係のもと、自助・互助・共助・公助を組み合わせた支援体制が実現できるように、地域の声を傾聴していきます。



栄養・調理課

おせち料理で喜んでいただきました

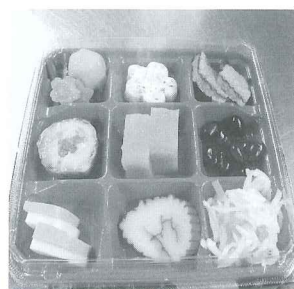
新年あけましておめでとうございます。

昨年の一月、二月は感染症の影響で正月らしいお食事の提供ができなく、ご利用者の皆様に淋しい思いをさせてしまいました。

施設全体で感染症予防を徹底し、調理室でも衛生管理をしっかりと行っているの



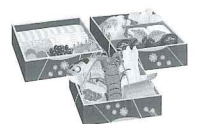
ゼリー食



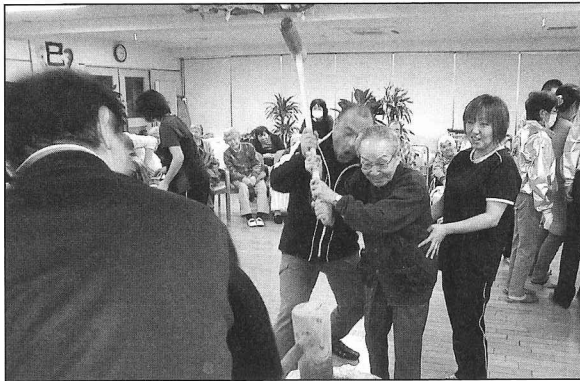
常食

で、今年は、元旦と二日にお餅とおせち料理をお出しすることができました。皆様に「今年はお餅が食べられた」と喜んでいただきました。

本年も栄養士、調理員一丸となつてご利用者皆様に喜んで召し上がっていただける、食事作りを目指して頑張っていきますのでよろしく願います。



イベントいっぱい！ デイサービスの年末年始

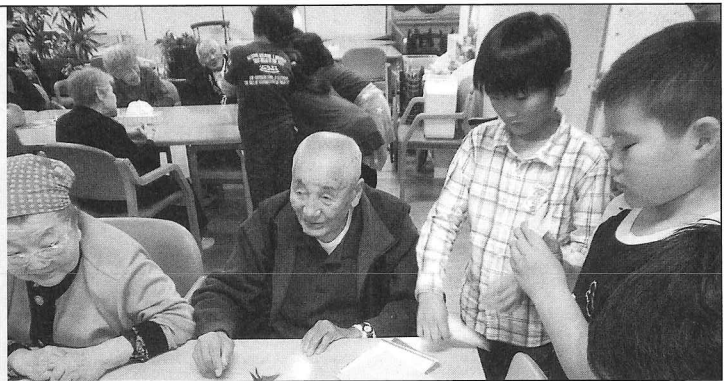


餅つき大会

昨年の12月7日、ライオンズクラブの方達がお餅つきに来てくださいました。利用者さんも「よいしょ！」の声と共に力強く杵をおろし元気いっぱいの餅つき大会でした。最後につきたてのお餅を、からみ・きなこ・あんこで食べ、皆さん満足そうな笑顔でした。

城東小学校の慰問

城東小5年生が慰問に来てくれました。歌を歌ってくれたり、折り紙を利用者さんと折ったり、会話を楽しんだり、とても賑やかな時間でした。皆さん笑顔いっぱいで子どもさんたちとの時間を楽しまれていました。折り紙の得意な利用者さんから折り方を教わっている子どもさんもありました。



フラダンスの披露

12月の誕生日会にフラダンスの方たちが来てくれ、素敵なダンスを披露して皆さんの目を楽しませてくれました。その中には4歳の子供さんもいて利用者さんが手を振ると「アロハー」と手を振ってくれ、とても可愛らしく、利用者さんも「アロハー」と手を振り返っていました。



豚汁・甘酒作り

豚汁・甘酒作りを大きな鍋にいっぱい作り、おやつ時間に食べました。皆さんの包丁さばきにビックリ！大きくすると食べられない人もいたからと、細かく気を遣って切ってくれました。「美味しい」「暖まるね」「また作ろう」の声があがりました。



恵風会だより 第14号
発行日 平成26年2月16日
社会福祉法人 恵風会
発行人 田 辺 誠
〒371-0017
前橋市日吉町2丁目20番地14
電話 027(231)3430